

Patricia Shehan Campbell



Patricia Shehan Campbell

(パトリシア＝シーアン・キャンベル)

急激なグローバル化が進む現在、音楽家たちは指導者としても演奏者としても、世界の多様な音楽文化についてより深く知る必要に迫られています。この講演では、世界音楽の音源資料や指導方法を紹介するとともに、歌にこめられた文化的意味を探りながら、音楽家にとって未知で魅力的な音楽テリトリーへといざないます。

講師のPatricia Shehan Campbell氏は、世界音楽の教育の第一人者でLessons from the World (1991)、Teaching Music Globally (2004)ほか多数の著書があります。アメリカ各地はもとより、ヨーロッパ、アジア、オーストラリア、ニュージーランド、南アメリカ、南アフリカ(タンザニア)など世界各地のワークショップや講演に招かれています。2017年度小泉文夫音楽賞を受賞され、今回の来日が実現しました。

招聘講座

主催: 作曲専攻/ミュージック・リベラルアーツ専攻

演題: What's In a Song? Music and Its Cultural Meaning(s) 歌にこめられたもの—音楽とその文化的意味

講師: Patricia Shehan Campbell (パトリシア＝シーアン・キャンベル)
ワシントン大学 ドナルド・E・ピーターセン講座教授
通訳: 今田匡彦

日時: 2017年6月9日(金) 18時～20時

会場: A100

★お問い合わせ : 東京音楽大学 ミュージック・リベラルアーツ専攻 代表TEL: 03(3982)3186 FAX: 03(3982)2883
【聴講自由・整理券不要・入場無料】